



技術史教育

ISSN 0917-9089

第125号

2021.1.31

Education for History of Technology

第125号 目次

- 日本技術史教育学会2020年度全国大会(島根・松江)開催報告…………… 鳥谷 智文(1)
 2019年度優秀講演論文賞受賞者挨拶…………… (2)
 日本技術史教育学会関西支部2020年度総会・研究発表講演会案内…………… 南 正晴(3)
 お知らせ・理事会議事録・編集後記…………… (4)

【全国大会報告】

日本技術史教育学会 2020年度全国大会(島根・松江)報告

2020全国大会実行委員会

実行委員長 鳥谷智文(松江高専)

日本技術史教育学会の2020年度全国大会・研究発表講演会が、2020年11月14日(土)に、松江高専で開催されました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑み、初めてのオンライン開催となりました。通常とは違う大会運営ということで、トラブルなど少なからずありましたが、入念に準備をして下さった久間英樹会員を中心としたスタッフのご尽力により、恙無く終えることができました。この場を借りてお礼申し上げます。



松江高専図書館でのオンライン風景

今回の全国大会は、特別講演、見学会は中止させていただき、研究発表のみを開催するかたちとなりました。本校図書館を拠点に、Google Meet による遠隔での報告、討論となり、発表者が一定数集まるのかという不安を抱えておりましたが、13件の発表が実現いたしました。また、オンラインにも関わらず活発な議論がなされ、大変な刺激になりました。13件の発表については以下の通りです。

まず、《技術史・技術文化史Ⅰ》のセッションでは、青木美香会員から多田銀銅山で使われた鉱山道具の分析と特徴、拙者から明治前期における糸原家のたたら製鉄と生産品の特徴、久間英樹会員から、尾去沢鉱山における坑道内の掘削痕跡「のみ角」の形状解析の発表が行われ、鉱山・鉄鋼技術の一端が垣間見られました。

次に、《技術論・技術史学》のセッションでは、牛山泉会長から1930～1980年代にかけての米、独、デンマークにおける大型風車の技術の形成過程、中條祐一会員から山間部の農村で昭和中期まで使用さ

れたパツリ水車の分析、飯野光政会員から1920～1940年代の米国小型風力発電機産業についての発表が行われ、風力、水力技術の特徴について、新たな分析結果が指摘されました。

次に、《技術史・技術文化史Ⅱ》のセッションでは、岡崎昭仁会員から戦前・戦中のレシプロ双発戦闘機の技術と用兵についての分析、山館順会員から幕末期におけるハンニバル像の変遷についての史料分析、南正晴会員から辰巳用水敷設の歴史と水理学からのアプローチによる分析について発表が行われ、機械、土木技術等におけるそれぞれの特徴が紹介されました。

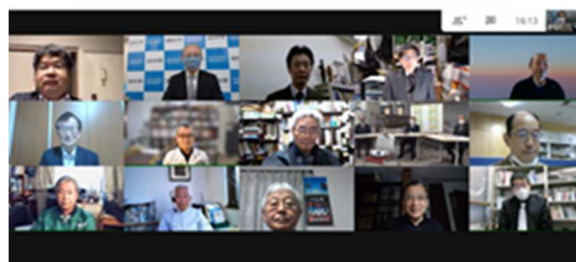
最後に《技術史・技術文化史Ⅲ》のセッションでは、吉田喜一会員から東京荒川区における胡粉つくりの詳細分析、渡部紘一会員から古代メソアメリカ文明遺跡の実地調査を基底にした分析、平野重雄会員から機械製図の文化の変革に関する研究として、製図の文化・製図論についての分析、武長玄次郎会員から八田與一とジェル・ジャスティンについての史料分析について発表が行われ、古代から近現代までの多様な技術が紹介されました。

講演発表が終了し、オンラインの中で記念撮影が行われました。

今後は、このようなオンライン開催も想定したかたちで大会が運営されるかと思います。

最後になりましたが、皆様のご協力で本大会を無事に終えることができましたこと、実行委員一同、深く感謝申し上げます。有難うございました。

日本技術史教育学会 2020年度全国大会
(松江 オンライン講演会)



2019年度優秀講演論文賞受賞者挨拶

2019年度総会・研究発表講演会及び全国大会での講演に対し優秀講演論文賞を受賞された方からのご挨拶を掲載いたします。

受賞のご挨拶

秋山 肇（福井高専）

この度は2019年度全国大会における優秀講演論文賞を授与頂き大変光栄に存じます。1995年に創立された歴史ある学会の継続的なご活動に敬意を表すると共に、私の研究が細やか乍ら貢献できたことを嬉しく思う次第です。演題に取り上げた水銀整流器はその発明から1世紀を跨いだ現在では半導体にその役割を引き継がれて久しく、つい先年にあたる2017年には環境保全の観点から水銀自体の製造と利用を抑制する水銀条約が発効したとの報に接し時代の流れを実感いたします。企業及び大学博物館をはじめ限られた施設に保存されながらその命脈を微かに保っている歴史的電気機器類の調査結果を議論できる場であると共に、技術史を教育面から考察できるほぼ唯一の場でもある本学会の存在意義は非常に大きいと感じます。会員の皆様におかれては今後共益々のご活躍を祈念して、ご挨拶に代えたいと存じます。

受賞にあたり

岡崎昭仁（神奈川工科大学）

今回、優秀講演論文賞を受賞することになりました。発表を聴講して採点されていた学会員の皆様様の賜物によるものです。感謝申し上げます。さて、本原稿執筆の折、何かとご指導して頂いた吉田正武先生の訃報を受け、故人のご冥福を祈ると共に、本学会の発展へのご尽力に感謝申し上げるばかりです。いつも笑顔で、『電子制御とか難しいこと言わないで、汎用エンジンを使って構造や原理、エンジンの楽しさを教えるといいよ』と話されていました。現在、不動ですがライカミング(航空発動機)、そして灯油発動機、汎用エンジンなど学生が構造や原理を学ぶに適したエンジンが研究室には散在しています。エンジンの歴史に触れつつ、吉田先生から頂戴した2サイクルの汎用エンジンに火を入れて、今後も技術史教育の発展に微力ながら貢献したいと思います。改めまして吉田先生のご冥福をお祈り申し上げ、学会の皆様のご健勝を祈念しております。

優秀講演論文賞受賞に際して

佐々木 堯(関西大学)

この度日本技術史教育学会の優秀講演論文賞をいただき、大変名誉なことと喜んでおります。関係各位の皆様にお礼申し上げます。

このたびの受賞の対象となった「寝殿造の源流Ⅱ―釣殿を中心にして―」は以前同講演会で発表した「釣車小考」から発展してきたものです。釣車すなわちリールの起源を調べるうちに、それを使った趣味の釣すなわち遊漁に興味を湧き、中国及び日本の遊漁の歴史を調べ始めました。中国も日本も遊漁は古代貴族文化として発展したのですが、次第にすたれ、特に日本では仏教思想の影響を強く受け、また社会情勢も影響し、急速に行われなくなりました。しかし釣殿という名称だけが用途が変わったにもかかわらず残りました。その遊漁の復活は江戸中期の武士階級の文化による「江戸の釣」まで待たざるを得なかったのです。次には江戸の釣を主体とした研究を行いたいと思っております。

優秀講演論文賞受賞に接して

鳥谷智文（松江高専）

この度は、過分な賞を賜り、深くお礼申し上げますとともに、大変恐縮しております。今回の受賞は、拙者自身の実力というよりも、「鉄炮板鉄」と呼ばれる大変興味深い素材を取り扱うことが出来たことに起因すると考えています。その意味では、古文書の閲覧、利用をご快諾いただいた櫻井家には深く感謝申し上げます。本講演論文を執筆するにあたり、櫻井家所有の貴重な文化財が展示されている可部屋集成館を見学させていただき、櫻井家のたたら製鉄の中でも特徴的な「鉄炮板鉄」の複製を目にし、その美しさと技術の高さに目を見張りました。それを受けて、「鉄炮板鉄」を材料に鉄砲を製作した国友に足を運び、国友鉄砲の里資料館(現国友鉄砲ミュージアム)で何種類もの鉄砲を見分し、「鉄炮板鉄」の重要性を改めて認識いたしました。拙者の「鉄炮板鉄」についての研究は始まったばかりです。今回の受賞を励みとして、牛歩ですが研究を深めていきたいと考えています。

日本技術史教育学会 関西支部2020度総会(通算第18回) 研究発表講演会(通算第14回)開催案内

支 部 長 南 正晴(元 三菱重工)

主 催:日本技術史教育学会、関西支部
協 賛:技術文化史研究会、日本メカニズム・アート研究会
日 時:2021 年 3 月 27 日(土)9:30～16:00
オンライン講演会として実施(窓口:南)

《プログラム》

9:30～9:35 開会挨拶・出席者紹介
9:35～9:40 会長挨拶

[研究発表講演会]9:50～15:10…進行(南、井上)

【研究発表講演:(技術論・機械技術史)】

- (1)9:50～10:10 米、独、デンマークにおける大型風車の技術形成、1930年代から1980年代にかけて(第2報)
○牛山 泉(足利大学)、飯野光正(足利大学)
- (2)10:10～10:30 米、独、デンマークにおける大型風車の技術形成、1930年代から1980年代にかけて(第3報)
○飯野 光政(足利大学)、牛山 泉(足利大学)
- (3)10:30～10:50 機械製図の文化の変革に関する研究(第21報) ○平野 重雄(東京都市大学、(株)アルター)、黄瀬 晋((株)アルター)、関口 相三((株)アルター)、奥坂 一也((株)アルター)
- (4)10:50～11:10 『潤滑グリース』その変遷と課題Ⅱ“リチウム複合石けんグリースについて”
岡村 征二(OS グリースコンサルタント事務所)

[休憩]11:10～11:20

【研究発表講演:(技術文化史Ⅰ)】

- (5)11:20～11:40 「フーテンの技術教育の変遷と問題点」:
フーテンの20年にわたる技術支援の視点から
白井 一(NPO 法人国際建設機械専門協議会)
- (6)11:40～12:00 大谷光瑞と台湾・嘉南大圳
武長玄次郎(木更津高専)

[昼食休憩](12:00～13:00)

- (7)13:00～13:20 北千島^{ほろむしろとう}(幌筵島)における港湾開発
井上 敏孝(常磐会学園大学)
- (8)13:20～13:40 インダス文明遺跡の現地調査研究-インダス文明の中心都市・モヘンジョ・ダロ遺跡-
渡辺 紘一(元松江高専)

[休憩]13:40～13:50

【研究発表講演:(技術文化史Ⅱ)】

- (9)13:50～14:10 南千住橋場の真先銭座-江戸のマニファクチュア
吉田 喜一(元都立産技高専)
- (10)14:10～14:30 19世紀におけるたたら製鉄により製作された刀の原材料「極上鋼」に関わる費用と日本刀の価値
鳥谷 智文(松江高専)
- (11)14:30～14:50 ハンニバル像の変遷-明治初期-
山舘 順(サレジオ高専)
- (12)14:50～15:10 金沢城築城の歴史と石積み技術の特徴
南 正晴(元三菱重工)

[休憩]15:10～15:20

[支部総会]15:20～16:00…進行(岡村)

関西支部	活動報告	南 支部長
	会計報告	岡村 会計幹事
	会計監査	久間 会計監査

【参加費】

- ・参加登録費(発表者・聴講者):3,000 円(予稿集付)
- ・予稿集のみ希望の場合:1,500 円

【参加申込および費用振込期限】

予稿集発注準備の都合で、厳しいですが 2020 年 2 月 17 日(水) 17:00 厳守にてよろしくお願い致します。参加申込書は別紙同封しています。

<参加申込書送付先>

〒655-0046 神戸市垂水区舞子台7丁目3-2-702 南正晴

E-mail:m.minami@fork.ocn.ne.jp

TEL 078-747-0294 携帯 TEL 090-2111-7082

<費用振込先>

(振込口座)

① ゆうちょ銀行からの振込みの場合

ゆうちょ銀行 記号:14390 番号:77100371(ニホンギョウツシキョウイクガッカイカンサイブ)

②他金融機関からの振込みの場合

ゆうちょ銀行 店名:四三八 店番:438 預金種目:普通預金 口座番号:7710037(ニホンギョウツシキョウイクガッカイカンサイブ)

【2021年度総会・研究発表講演会講演募集】

2021年度総会・研究発表講演会を下記のとおり開催いたします。つきましては研究発表を募集いたしますので、ご希望の方は申込期日までに事務局宛お申し込みください。尚、新型コロナウイルス感染防止の為オンライン開催(やむを得ない場合は中止)に変更することもございます。

開催期日:2021年6月12日(土), 9:00~

開催場所:サレジオ高専(会場等は次号ニュースレター掲載)

研究発表の申込方法

- ①講演者名(登壇者は会員であること。氏名の前に○印を付ける)及び所属名
- ②主題(タイトル)、副題(サブタイトル)
- ③講演者連絡先(住所・TEL/FAX・メールアドレス)
- ④講演発表時使用機器(パワーポイント等, PC は各自持参)

上記の①から④までをA4判用紙に記載し、封書で学会事務局宛郵送してください。なお、今回から下記のアドレスに、件名を「2021年度総会研究発表申込(申込氏名)」とした添付ファイルでの申込みも受け付けいたします。登壇講演者は2021年度までの会費を納入済みであること、申込受付後の講演題目変更はできません。

◇研究発表講演申込期限:2021年4月9日(金)必着

◇研究発表講演論文原稿提出期限:2021年5月7日(金)必着(原稿未着の場合は講演申込辞退とみなし、講演論文集への掲載は致しません)

◇研究発表講演申込先:メールhappyyou.jseht@gmail.com 宛または封書で〒113-0023 東京都文京区向丘2-34-5 ホワイション201 (株)プラス・ワン気付 日本技術史教育学会事務局2021年度総会実行委員会宛お送りください。講演希望件数が多い場合は研究発表の時間を調整させていただきます。あらかじめご了承ください。

◇新型コロナウイルス拡大による対応で開催校の入校禁止規制が生じた場合は、本行事を中止し、講演申込者宛連絡するとともに講演発表を実施したものと致します。

【功績賞・業績賞の候補者募集】

日本技術史教育学会規定により、下記の要項により、功績賞・業績賞を募集いたします。表彰内容、表彰者資格、表彰候補者の推薦につきましては表彰規定のとおりです。

1.募集要領

- 1)A4判用紙を使用
- 2)表彰の名称(表彰の種類を明記)

- 3)候補者の所属、部署、氏名(自薦は連絡先を追加)
- 4)推薦理由(400字程度)
- 5)推薦者の所属、部署、氏名、連絡先(自薦は不要)
- 6)送付先:学会事務局宛、「表彰応募」と封筒に朱記して郵送

〒113-0034 東京都文京区向丘 2-34-5 ホワイション 201(株)プラス・ワン気付 日本技術史教育学会事務局

2.募集期限 2021年4月20日(火)消印有効(厳守)

3.問合せ先 学会事務局宛、FAX でお願ひします。

FAX:03-3824-2611

4.贈賞、表彰時期 2021年度総会

5.その他 表彰規定については学会誌をご参照ください。学会ホームページにも掲載されています。

【訃報】

吉田正武先生(上智大学名誉教授)が2020年11月16日に急逝されました。吉田先生には長く本学会の監事をお引き受け頂いておりました。心よりのご冥福をお祈り申し上げます。

【理事会議事録】

◆第164回(通算207回)理事会

日時:2020年12月19日(土)以降新型コロナウイルス感染防止の為メール審議

議題 0) 前々回,前回(第162,163回)議事録案承認,1)各部門報告<総務(ホームページ更新確認,会員動向,会費納入状況,表彰,その他)、編集(学会誌、ニュースレター編集関連)、企画(2020年度全国大会開催)、関西支部(2020年度関西支部総会開催)>、2)その他、3)次回理事会未定

【2021年度会費納入のお願い】

2021年度会費の納入を、同封した振込用紙によりお願い致します。本学会の運営は会員の皆様の会費でおこなわれています。2020年度までの会費未納の方も、早急な会費の完納にご協力ください。

【編集後記】

新型コロナウイルスの感染が確認されてから1年が過ぎ、まだまだ収束の兆しが見えない中、如何お過ごしでしょうか?昨年(2020年)は年度総会が中止、全国大会はオンラインと言う新たな試みで運営をまいりました。2021年度総会・研究発表講演会は昨年と同じサレジオ高専で6月に開催する予定でありますが、新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインまたは中止とさせていただく事もございます。皆様のご講演申込みとご参加を実行委員一同お待ちしております。関西支部2020年度総会研究発表講演会のプログラムを掲載しております。今回はオンラインでの開催になります。皆様の参加をお待ちしております。(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニュースレター 第125号

2021年1月25日 印刷

2021年1月31日 発行



技

術

史

教

育

Education for History of Technology

発行者
編集

日本技術史教育学会 会長 牛山 泉
日本技術史教育学会
(株) プラス・ワン気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-34-5 ホワイション 201

TEL/FAX:03-3824-2611

E-Mail: jseht@nifty.com